

会 議 結 果

会議名	令和7年度第1回西尾市食育推進会議
日 時	令和7年6月17日（火）午前10時～11時10分
場 所	市役所41会議室
出席者	委員：上原正子、加藤裕美、榎本泰典、浅井朝美、篠瀬明美、茂木沙織、齋藤英二、 阪野知美、石川裕高、太田知宏、岡田明美、新家弘美、華尾英幸、鈴木健太、都築貴弘、 石川まゆみ 事務局：小笠原敬、鈴木誠、酒井洋子、林睦美
傍聴者	3人
議 題	1 第4次西尾市食育推進計画の概要について 2 令和6年度食育推進関係事業自己評価及び令和7年度食育推進関係事業計画について 3 その他
結果等	

1 第4次西尾市食育推進計画の概要について

【事務局説明】令和4年3月に第4次西尾市食育推進計画を策定した。計画期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間である。この計画は、健康な暮らしを持続できるような食育のあり方として、食の知識や望ましい食習慣を身につけ、楽しく食事することを「知ろう・学ぼう 食育の話!」「やってみよう 食育の和!」「みんなで参加しよう 食育の輪!」「まもろう 食育の環!」の4つのわをテーマとして、西尾市独自の食育を進めていく。

【意見】

- ・「食育プログラム」の配布状況は？
→食育関係のイベントなどにおいて、チェックシートを活用するよう呼びかけながら配布している。
- ・5歳児を対象に「幼児食育チャレンジ表」が配られ、子どもと一緒に取り組んだ。普段は偏食傾向がある子どもだが、楽しく食育に取り組めたと思う。引き続き継続してほしい。
- ・「幼児食育チャレンジ表」の配付と同時に、保護者に向けて「食育プログラム」を配布したらどうか。

2 令和6年度食育推進関係事業自己評価及び令和7年度食育推進関係事業計画について

【事務局説明】健康課・学校教育課・保育課・観光文化振興課・農水振興課・ごみ減量課の一部の事業を説明。

【意見】

- ・毎年実施している箸の持ち方の調査では、箸の持ち方だけでなく、「いただきます」や「ごちそうさま」の意味や西尾市の農産物の素晴らしさも一緒に伝えられると良いのではないかと。
- ・昨年度の3月に開催された「西尾市食育イベント」では、郷土料理である煮味噌や油菓子が配布され、西尾市の郷土料理を知ってもらい良い機会だと感じた。また、一緒に実施していた「ベジチェック」も自身の野菜摂取量を見直すきっかけとなる。
- ・新たに農水振興課の公式 Instagram を活用し、食育についても情報発信をしていくということだが、情報発信をしたことで市民にどれだけ届いたか、効果を測れると良い。数値として把握するのは難しいかもしれないが、委員の機関だけでなく民間等、横へのつながりを視点としてどこまで広がったのかを評価するのも良いと思う。
- ・第4次計画では「地産地消という言葉を知っている人の割合」を37.2%から70%に増加させることを目標に掲げている。小中学校の授業や給食においても、地産地消について引き続き伝えてほしい。
- ・各食育推進関係事業を進めていくにあたっては事業内容に加え、実施する目的や目指す目標をより明確にしてほしい。

3 その他

- ・今年度は、年間2回の会議を開催する。次回は、令和8年3月12日（木）を予定していることを報告した。

【委員長総括】

第4次西尾市食育推進計画は来年度に評価年度を迎えるが、評価ありきの食育ではないので、数値にこだわりすぎずに近づくことが大切。食育の根本は食を大切にすることであり、食の多様化が進む中で、私たちは何を食べるべきなのかを理解するために食育がある。食が作られる過程を知り、その過程を意識し、感じながら食べてほしい。学校教育だけではできないので、西尾市全体として進めていく必要がある。第5次計画では、西尾市には大事な食があり、その食を大事に思う市民がいる、ということを引きちんと位置付けて、計画策定を進めていきたい。